

MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

皆さん、ハウディ！

7月28日をもって、JETプログラムの国際交流員として2年目を迎えました。正直、この1年間で経験したことがあまりにも多く、「まだ1年しか経っていないの？」と思うほどです。そこで今回は、この1年間で特に思い出に残っている活動を振り返ってみたいと思います。

まず、時系列で最初に挙げたいのが、前橋に着任して間もなく携わったあかぎ大沼・白樺マラソンです。前橋市の姉妹都市であるアメリカ・アラバマ州バーミングハム市からランナーの皆さんが来訪され、その通訳・翻訳を担当することになりました。当初は文書やメールの翻訳といった業務から始まりましたが、最終的には3日間にわたってランナーの皆さんを前橋市内へご案内したり、マラソンに同行したりしました。

前橋市の代表として海外からのお客様をお迎えするのは、この時が初めてでした。ランナーの皆さんとはすぐに打ち解け、多くの素晴らしい思い出を作ることができました。中でも一番印象に残っているのは、「一緒にマラソンを走ろう！」と誘っていただいたことです。もちろん、喜んで参加しました！人生で初めてのマラソンでしたが、皆さんの応援のおかげで本当に楽しく走り切ることができました。振り返ると、この経験は国際交流員としてのスタートにふさわしく、その後どのような気持ちでイベントに取り組んでいきたいかを考えるきっかけにもなりました。

次はイベントではありませんが、ぜひ紹介したいことがあります。12月頃から、新しく「シネマレビュー」というニュースレターを始めました。私は子どもの頃から映画が大好きで、映画レビューを書いたり、映画制作に携わったりすることが長年の夢でした。そのため、前橋シネマハウスで上映される作品のレビューを書くという提案が採用された時は、本当に嬉しかったです。新しい作品と出会い、自分の感想を皆さんと共有できることをとても楽しんでいます。これからもより良いレビューを書けるよう努力していきたいと思っています。

2月には、観光政策課から赤城山での氷上ワカサギ釣りをPRするための写真撮影のお手伝いを依頼されました。まさか自分が氷上ワカサギ釣りを体験する機会があるとは思っていませんでしたが、想像以上に楽しい経験でした。そして、一緒に参加した職員3人の中で、実際に魚を釣り上げたのが私だけだったことは、今でも少し誇らしく思っています。この日をご一緒した職員のお二人とも、とても仲良くなることができました。



ワカサギ釣り



あかぎ大沼・白樺マラソン

その月の後半、ちょうどバレンタインデーには、イタリア文化イベントで司会を務める機会をいただきました。司会を担当するのは初めてで、人前で話すことは決して得意ではありませんでしたが、とても楽しく、やりがいを感じるすることができました。この経験のおかげで人前で話すことへの苦手意識もかなり薄れ、後に自分が企画した「JO映会」でも司会を務める際に大いに役立ちました。



JO映会

3月には、アラバマ州日本国総領事のマーク・ジャクソン名誉領事ご夫妻と、詩人サミュエル・ウルマンの子孫であるアンディ・ミニスマンさんが前橋市を訪問された際に同行する機会をいただきました。皆さんは、前橋青春の会会長・田子則氏による講演会に出席された後、前橋市内を見学され、臨江閣での夕食も一緒に楽しまれました。皆さんと交流を深め、新たなご縁を築くことができたことを大変嬉しく思っています。

そして、1年目で最も誇りに思っているのが、5月にJOMO JETのメンバーとともに企画・運営した「JO映会」です。これほど多くの時間と労力を一つのプロジェクトに注いだのは初めてだったと思います。しかし、JOMO JETの皆さんの支えやアドバイスがなければ、このイベントを成功させることはできませんでした。イベントが大成功に終わった時は、それまでの苦労がすべて報われたような気持ちになりました。これからもJOMO JETの恒例イベントとして長く続いていくことを願っています。

ここでご紹介したのは、1年間で経験した数多くの出来事の中のほんの一部にすぎません。こうして振り返ってみても、まだ1年しか経っていないということが信じられないほどです。2年目にはどのような新しい経験が待っているのか、今からとても楽しみにしています。そして、これからもニュースレターを通して、皆さんとたくさんの思い出を共有できれば嬉しいです。